

総務経済 常任委員会 レポート

3月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務経済常任委員会は12月定例会以降、所管事務調査を2回にわたり開催し、3月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第10回総務・経済常任委員会 1月29日開催

- 建設水道課
・JR江差線廃止に伴う鉄道資産について
・新釜谷生活改善センター設計について

- 産業経済課
・はこだて和牛ブランド化の推進事業について
・経済団体（商工会・農協・漁協）の現況について

第11回総務・経済常任委員会 2月22日開催

- まちづくり新幹線課
・人口減少対策について（継続）
・平成27年度北海道新幹線木古内駅開業記念事業について
- 総務課
・人事評価制度の導入について
・行政不服審査法の一部改正について

「所管事務調査報告」

JR江差線廃止に伴う鉄道資産について

JRから全額支払われる鉄道資産の撤去費用については、JRとの協議を経て、平成27年12月10日に協定書を締結し、それに伴う年度別撤去計画や具体的な撤去場所も示された。平成30年度以降の工事については、撤去または存置するかを今後検討していくとの考えは理解するが、今後予定されている撤去工事に

ついては、可能な限り地元業者への発注を求める。

また、「北海道夢れる倶楽部」から新幹線開業記念イベントとして旧JR江差線（旧鶴岡駅から本町地区高

架下付近）を利用し、トロッコ列車を運行する企画が出されている。我が町にとつて画期的なことであり、費用についても町の負担が小さいことから当倶楽部へ謝意を表するとともに

行政として、できる限りの協力をお願いしたい。今後、行政・観光協会・地元住民が一体となり新たな観光スポットを確立し地域活性化が図れるよう強く期待する。

理解する内容であるが、今現在、新規施策の具体的提示もないことから今後の人口推移については不透明であり、将来の目標数値が達成されるか疑問を持たざるを得ない。

次年度以降は、我が町の最重要課題である人口減少対策の積極的な施策展開を求める。また、当初予算に反映できない施策についても、早い段階で予算計上を行い、他の自治体に遅れをとることなく取り組まれることを求める。

人口減少対策について（継続）

木古内町の人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要版が完成し、平成31年度までの基本方針や2060年までの人口目標数値等が示された。概要版の中の分析・展望・方針については



旧JR江差線を利用したトロッコ列車（鶴岡地区）

特

集

定

例

会

予算等審査特別委員会

一般質問

常任委員会

お知らせ